

南九州市のホタルを採して



川辺町の神殿川



知覧町の塗木農村公園

【今回の取材と情報によりホタルを確認できた場所】

川辺地域	・神殿 中服良自治会内 ・岩屋公園	・清水 桜元自治会内 ・高田 上の前自治会内
知覧地域	・郡 みたらし水路 ・郡 厚地自治会内	・郡 池之河内自治会内 ・塗木農村公園
額娃地域	・牧之内 伊瀬知自治会内 ・御領 坂上自治会内	・牧之内(御領) 平瀬橋 ・牧之内 山脇自治会内

「夏は、夜。月のころはさらに、やみもなほ、ほたるの多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし…」清少納言の枕草子にも登場し、古くから親しまれているホタル。

夏が近づく涼しい夜に、やさしい光を灯し幻想的に舞う市内のホタルを探してみました。





ホタルと地域とともに...

ホタルのタベコンサート



5月21日、川辺町の神殿校区公民館が主催する「第21回ホタルのタベコンサート」が、神殿小学校で開催されました。このコンサートは、毎年ホタルが舞う5月下旬に開催される地域に馴染みの深い恒例行事です。神殿小学校児童と地域の中学・高校生による力強い神殿ホタル太鼓や、川辺フィルハーモニー管弦楽団の優雅な演奏が、来場者の心と神殿の夜に響き渡りました。また、神殿小学校児童4人によるホタルクイズや抽選会で楽しい時間を過ごした後は、会場近くの神殿川で幻想的な光を放ち、乱舞するホタルをみんなで観賞しました。

神殿校区公民館の藺田善春館長は「21回も続けられたことをとても誇りに思っています。第1回目を始めた藺田誠さんをはじめ、地域の方々みんなで盛り上げています。時期になったらホタルを観賞しやすいように草払いをしたり、手作りの灯ろうを並べて来場者を迎えたりと、このコンサートは地域の力だけで全て手作りなんです。来年の3月に神殿小学校は閉校するけれども、来年度もこのコンサートは続けたい」と、地域の光を絶やさない熱い思いを話しました。

ホタルクイズ

[1] 一匹のホタルから約何個の、卵ができるでしょうか？

- ① 50個～100個
- ② 500個～1000個
- ③ 3000個～4000個

[2] ホタルの成虫は、何を食べるでしょうか？

- ① 葉っぱ
- ② 川にいる虫
- ③ 葉っぱのつゆ(水)

[3] 次のなかでヒメホタルが有名な場所はどこでしょうか？

- ① 広島県の広島市
- ② 南九州市の神殿
- ③ 山口県のあるところ

[4] 次のなかで光らないホタルはどれでしょう？

- ① ヒメホタル
- ② オバホタル
- ③ ムネクリイロボタル



ホタルの一生



5月～6月



産卵から3～4週間でふ化すると、川底へと潜ります。

7月～2月



幼虫となり、カワニナなどを食べて大きくなります。

3月～4月



水中から上陸し、前蛹からやがてサナギになります。

5月



羽化し外へ飛び立ち、わずか7日ほどで命を終えます。

ホタルクイズの正解：[1]② [2]③ [3]① [4]②



▲観察をより楽しんでもらうため、はじめにホタルの生態や環境についての説明がありました。



▲ホタルは強い光を嫌うため、提灯（ちょうちん）を使って観察しました。



▲岩屋公園内にある和風カフェ「Cafe サクラノヤカタ」のホタルウィーク限定メニュー。



地域が育てたホタルを楽しむ

岩屋公園ホタル Week

(写真提供・協力：岩屋公園キャンプ場)

5月20日から27日にかけて「岩屋公園ホタルWeek」が開催されました。

岩屋公園のホタルは、地域有志の集まり「故郷川辺会」が毎年行っているホタルの幼虫とその餌となるカワミナの放流など、地域の取り組みに支えられ守られています。カジカガエルの美しい声やフクロウの鳴き声のBGMにのせて、地域の思いに育てられたホタルが舞い、一年で一週間ほどしか見ることができない世界に、参加者は心躍らせていました。

静かなホタルたちを見て



岩屋公園キャンプ場
管理人 上代恭久さん

「もつとたくさんホタルが見られると思っていたのに」と時折言われることがあります。ホタルは人間のために飛んでいるわけではなく、時間、そして自然環境に左右されながら、あるがままにそこに飛んでいるだけなのです。そのホタルやカジカガエルの声などその雰囲気を感じていただき、自然環境のことについて考えてもらいたい、そう思いながらホタルウィークを開催しています。

このホタルたちは、7年ほど前から故郷川辺会の皆さんが、同じ水系である神殿川からのカワミナの放流や水路の環境保全など、ホタルの定着しやすい環境を作っていたとき、世代を重ねてきたホタルたちです。私たちが生活していく中で、便利な生活と自然環境とのバランスを考えていくことで、ホタルやいろいろな生物が戻ってきてくれると思います。

子どもたちが、岩屋公園のホタルを思い出して、家の近くの川や池、海、そして排水などについて気付きを持ってくれれば嬉しいです。

■問い合わせ先：岩屋公園キャンプ場 〒 897-0202 南九州市川辺町清水 3882 ☎ 0993-56-5465 <http://www.iwayacamp.com>